

2023 年 4 月吉日

創業者・大谷嘉兵衛の立像を寄贈されました。

弊社創業の祖の一人である日本紅茶・大谷嘉兵衛翁の立像贈呈式が 3 月 28 日に大谷嘉兵衛翁生誕の地・三重県松阪市飯高町で行われました。

今回の贈呈式は、飯高町で大谷嘉兵衛翁の功績収集や広報等を行っている「茶王大谷嘉兵衛翁の会」（会長 大榎英治氏 会員約 30 名）に対して弊社から立像の寄贈を申し入れたところ、同会より快諾頂いたことから実現したものです。

詳細は、添付 2023 年 3 月 29 日付夕刊三重の掲載記事をご参照ください。

以上

高の飯元・地元の
グループ
顕彰

87歳時に製作の立像贈る

社長交代に 茶王・大谷嘉兵衛設立の会社に



松阪市飯高町宮本出身の茶王・大谷嘉兵衛（1845〜1933年）を顕彰する地元の茶王大谷嘉兵衛翁の会（大榎栄治 会長、31人）は28日、嘉

訪れるなどしている。レプリカの立像は、嘉兵衛がシルクハットを手にもつもの。元になったものは1931（昭和6）年、横浜市の伊勢山皇大神宮の氏子総代を長く務

めた功績から嘉兵衛87歳の誕生日に製作した銅像。この像は戦時中の戦局激化と物資の不足を補うための金属類の回収で失われ、台座と複数のレプリカだけが残った。

28日は、手代木社長と原勝一朗次期社長（51）ら4人が訪れ、同館を見学した後、飯高町宮本の長楽寺で嘉兵衛の墓前に手を合わせた。贈呈式は飯高町粟野の日本料理店「菊壽」で行われ、大榎

原次期社長は「交代に当たって無理をお願いして来させてもらいました。創業者の遺志を継いで私たち後輩が一生懸命やっけていきたい。像は多くの人に見てもらいたい」、手代木社長は「定年した後も（会の）個人会員として関わってきたい」とそれぞれ話した。同社は12月のみえ松阪マラソンの協賛も行うとし、この日、市役所に竹上真人市長を表敬訪問などした。

る（株）エム・シー・フーズ（東京都文京区、手代木和人社長）に嘉兵衛のレプリカの立像を寄贈した。同社が2017（平成29）年に、日本紅茶（株）として創業100周年を迎えたことを機に、創業者について調べる中で、嘉兵衛の会の存在を知り、松阪市観光協会を通じて交流が始まった。昨年4月には、手代木社長（59）らが生誕の地を初めて訪問。同年10月には3年ぶりに開催された「第22回大谷嘉兵衛翁まつり」に手代木社長を含め6人が

大榎会長（左）から目録とレプリカを受け取った手代木社長（真ん中）と原次期社長
|| 飯高町粟野の菊壽で